

農業委員会 総会（1月） 議事録

| | | | |
|-----|------------------|------------|--------|
| 日時 | 令和3年1月28日（木） | 9:00~10:00 | |
| 場所 | 新島村住民センター 1F 会議室 | | |
| 出席 | 農業委員会長 | 12 | 石野 正幸 |
| | 農業委員 | 1 | 綾 真吾 |
| | 農業委員 | 3 | 山下 竹夫 |
| | 農業委員 | 4 | 天野 律子 |
| | 農業委員 | 5 | 公文 宏司 |
| | 農業委員 | 7 | 大沼 剛 |
| | 農業委員 | 8 | 北村 一男 |
| | 農業委員 | 9 | 岩永 和徳 |
| | 農業委員 | 11 | 吉見 一之 |
| | 農地利用最適化推進委員 | | 前田 亙 |
| | 農地利用最適化推進委員 | | 横田 泰一 |
| | 事務局 | | 前田 充 |
| | | | 佐藤 文乃 |
| 欠席 | 農業委員 | 2 | 奥山 敏仁 |
| | 農業委員 | 6 | 植松 由美子 |
| | 農業委員 | 10 | 内藤 政之 |
| | 農地利用最適化推進委員 | | 池村 達子 |
| 傍聴人 | 1名 | | |

- 1 会議事件 (1) 議案第13号 農地法第3条の規定による許可申請について
本村地区 5筆
- 2 協議事項 (1) 非農地判断について
(2) 山林の届出について
(3) その他について
 - ① チャレンジ農業支援事業について
 - ② 農業委員会だよりについて (3月号担当者の確認)
 - ③ 議事録署名人について
 - ④ 2月の総会について

1 会議事件

(1) 議案第13号 農地法第3条の規定による許可申請について 本村地区 4筆

譲渡人が令和3年4月頃に村外へ転出予定で、所有農地の管理・耕作をすることができなくなるため、村内在住の譲受人に売買によって譲り渡すものである。

許可。

2 協議事項

(1) 非農地判断について

非農地証明・非農地判断について今後申請が予定されていることから、概要を説明。次回以降、事務要領の作成、承認という流れで実施を進めていく。

(2) 山林の届出について

農地と同じく山林についても所有権移転時の届出が必要なことから、概要を説明。

(3) その他

① チャレンジ農業支援事業について

② 農業委員会だより3月号について

担当者の確認 担当：山下委員、天野委員、横田委員、吉見委員

③ 議事録署名人について（奥山委員、内藤委員）

④ 1月の総会について

2/26（金）9：00から新島村住民センター1F会議室にて開催

◎報告・質疑

①若郷砂防ダムについて

北村委員： 末端の作りが悪いのでは。

事務局長： 雨天時、山の上から土砂混じりの雨水が大量に流れてくるため、大型のグレーチングでも受けきれない。年々雨水の流量が増加しており、グレーチングで受けきれない量ではなくなっている。

②若郷砂防ダム管理道について

大沼委員： 管理道の底地の所有権移転はしないのか。

事務局長： 都は行わない方向で考えているようだ。恒久的な施設なので、それが民地の上にあるというのもどうかということで、村で何とかできないか庁内で検討中である。

③非農地証明について

大沼委員： 非農地証明が許可された後の固定資産税はどうなるのか。

事務局： 基本的に非農地証明は既に山林化・宅地化しているなどの不耕作農地を許可するものとなっております。固定資産税は現況課税であるため、登記地目が農地の場合でも山林化していれば現況地目を山林として課税されているはずですので、固定資産税に変動はないと思われます。

④その他

北村委員： 農機を運搬する車両が欲しいが、村で購入できないか。

事務局長： 車両など汎用性の高いものについては、農業関係の補助金を利用しづらく、村が購入するのは難しいかと思われます。

石野会長： 農協で検討してみましよう。

北村委員： 久田巻工事は工期内に終わるのか。畑の目の前まで来ているのに、現場が止まっている。毎日やってくれれば早く終わるのに。

事務局長： 進捗率は80%程度まで来ておりますので、工期内は心配ないかと思われます。できる限り早期の工事完了を指示しておきますが、人員の関係もありますのでご了承ください。

大沼委員： 前回、高齢者がトイレがないので畑に行きづらくなっているという話があったが、高齢者が免許返納で畑に行けないという話を聞いた。シニアカーだと荷物や収穫した野菜が積めないし、ゴルフカートのような荷物の積める安全な乗り物を農道だけ高齢者が使えるように特区などの制度でできないだろうか。

石野会長： 農業委員会で話すのが適正がどうか分からないが、他地域では農福連携など農業と高齢者福祉の事業連携をしているところもある。農業者を増やし、不耕作地を減らすには重要な問題だと思う。今後検討していきましょう。

— 閉会 —